



平成30年度
金津創作の森は、今年開館20周年を迎えます

1 第9回森の作家展
—出会いをカタチに 20年目の森—

4月21日(土)～6月10日(日)

6人の入居作家が8人の招待作家と作る、20年目の企画展

開館20年目の節目に、入居作家それぞれがこれまでの活動の中で出会った作家とのコラボレーションによって、創作の森での新たな可能性を表現します。

出展作家(入居作家×招待作家)

大森正人(入居作家・陶芸)×銭本真理(陶芸)×福島宏治(陶芸)×タナカマナブ(陶芸)

加藤すみ子(入居作家・染画)×木田乃梨子(染)

松井勝彦(入居作家・陶芸)×山口紀子(入居作家・作曲)×長田和也(和紙)

山田信雄(入居作家・竹工芸)×松島由美子(書)

山野宏(入居作家・ガラス工芸)×竹原城文(日本画)×山本善一郎(版画) ※入居作家50音順



参考作品：焼き締め「壺」松井勝彦

2 やなせたかし-アンパンマンとメルヘンの世界-

7月14日(土)～10月8日(月・祝)

協力：高知県香美市(姉妹都市)

油彩画や絵本原画約100点と、子どもと遊べる楽しい企画でお迎えます。

3 アートドキュメント2018 クリヨウジ展(仮称)

11月3日(土)～12月16日(日)

福井県が生んだ洋画家、漫画家、アニメーション作家、イラストレーター、絵本作家

(受賞歴：ヴェネツィア国際映画祭サンマルコ獅子賞、大藤信郎賞、オーベルハウゼン映画祭最優秀賞受賞、ポーランド・クラカフ映画祭ドラゴン・ド・ブロンズ賞など。日本テレビ『11PM』などで18年間アニメーション作品を発表するなどマスコミで活躍)



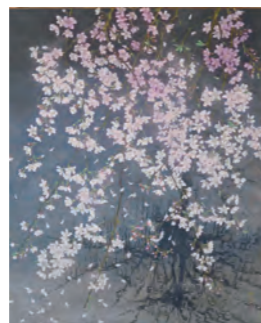
「殺人狂時代」1967年クリヨウジ

4 福井の院展作家 土屋閑代
写生が生み出す日本画の世界

平成31年

1月19日(土)～3月3日(日)

あわら市前谷出身の作家(東京在住)による
細密な日本画展。



さくらさく 2017年 岩絵の具、黒箔、雲肌麻紙 F30 917×727(mm)



「手のひらを太陽に」のやなせたかし(公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団所蔵

平成30年度
友の会会員募集中!

メンバーズカード発行
(企画展入場フリー)
(コンサート入場割引)

ソフトドリンクチケット付き
その他魅力的な特典付き!

*メンバーズカード 大宮エリーの
オリジナル絵画をデザイン

《私たちも20周年》

【ガラス工房】ガラス講座、一日体験開催(運営 エズラガラススタジオ)

【創作工房】陶芸教室、一日体験、染めクラブ、竹細工体験を開催

【入居作家】大森正人(陶芸家)、加藤すみ子(染画家)、松井勝彦(陶芸家)、山口紀子(作曲家/音楽監督)、山田信雄(竹人形職人)、山野宏(ガラス工芸作家)→金津創作の森は、6人の作家の創作活動の拠点となっています

【レストランアンビション】フルーツラインから近いカフェ・お食事処

お知らせ：4月22日(日) 実行委員会主催イベント 演歌歌手 椎名佐千子歌謡ショー前売り券発売中

- 月曜休館(祝日の場合開館、翌平日休館)
- (公財)金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 <http://sosaku.jp/>
- アンビション(レストラン&森の結婚式)問合せ アンビション TEL.73-4141



国体ポスター初お披露目

◆2月18日(日) 中央公民館



「第10回ほのぼの展」を開催しました。中央公民館で活動しているサークルの生徒による作品を一挙に展示。パッチワークや習字、絵手紙などの作品の数々を、来場者はじっくりと観賞していました。

また、「福井国体開催250日前記念イベント」も同時に開催し、市内のダンスチーム「グリーンフラッシュ」によるはびねずダンスの発表や、金津高等学校の美術部の生徒がデザインしたあわら市オリジナルポスターが初披露されました。ポスターは、スポーツに対する情熱や活気をイメージしたもので、市内で開催されるゴルフ、バレーボール、カヌー競技に、スピード感が背景の線で表現されています。除幕式の後は、市内4つのこども園の園児が歌やダンス、縄跳びを元気よく披露し、イベントを盛り上げていました。

ご支援ありがとうございます

今回の大雪に際し、若狭町と美浜町からスコップやスノーダンプなどの応援物資を提供いただいたほか、小浜市、美浜町、高浜町などから見舞金をいただきました。また、ふるさと納税サイトを通して全国から多くの寄付金をいただいています。皆さまの温かいご支援に、厚くお礼を申し上げます。



まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします!



豆まきで、今年1年も元気に

◆2月3日(土) 本荘公民館



毎年恒例の「新春豆まき祭」が開催されました。今年はいわゆる「あわら市在住のマジシャン桑島康郎さんによる手品も行われました。桑島さんが次から次へと繰り出す手品に、観客は驚きの声を上げたり、拍手を送ったりして、楽しんでいました。

その後、「龍雲寺」の副住職が家内安全・無病息災のための祈禱を済ませると、いよいよ豆まきへ。参加者は、飛んでくる豆やお菓子を一つでも多く取ろうと、懸命に手を伸ばしていました。

あわらの歴史を感じる

◆2月23日(金) 郷土歴史資料館



現在、郷土歴史資料館では企画展「新収蔵品展」を開催しています。今回展示しているのは、平成26年度から29年度までの間に、寄贈・寄託された屏風や兜、甲冑、金津町の合併関係資料などあわらの歴史を物語る資料の数々です。そのほかにも、桶や棒秤、徳利など、さまざまな時代の日常で使われていた品もあります。

この企画展は、期間中に一部展示作品を変えながら、5月20日(日)まで開催しています。